

「ポイントで学ぶ電気回路 一直流・交流基礎編」 正誤表

刷数	頁	箇所	誤	正
2	16	6行目	式(1.21)より,	式(1.12)より,
2	16	ポイントの 2行目	$r = R$	$R = r$
2	16	式(1.27) 右辺の分母	$4R$	$4r$
2	17	13行目	$r = R$	$R = r$
1, 2	41	下から 7行目	a, e 間の電流	a, e間の電圧
1, 2	85	下から 1行目	極形式(polar form) また は	削除
1, 2	86	3行目	この表し方をフェーザ形 式(phasor form)と呼ぶ.	右辺の表し方を極座標形 式(polar form)と呼ぶ.
1, 2	92	ポイント(iii)	位相の基準( $\varphi = 0$ )は一 般に電圧とし,	位相の基準( $\varphi = 0$ )は電 圧とする場合が多く,
1, 2	123	図5.5	(a) $M > 0$ の場合 (b) $M < 0$ の場合	(a) $+M$ の場合 (b) $-M$ の場合

①, ②

最新の正誤表がコロナ社ホームページにある場合がございます。  
下記URLにアクセスして[キーワード検索]に書名を入力して下さい。  
<http://www.coronasha.co.jp>